

令和4年度

ともそだち



令和4年12月21日
大崎上島幼稚園 NO. 15

楽しいな紙飛行機

今、年長組の子供たちは紙飛行機に夢中です。ご家族の皆さんも一度はやったことがあるのではないのでしょうか。初めは、自分の知っている折り方で作って飛ばすのを楽しんでいた子供たち。担任の先生が、いろいろな飛行機の折り方を保育室に掲示すると、折り方を見ながら熱心に新しい折り方に挑戦し始めました。「これはねスマイル飛行機」「イカ飛行機も作ったよ。」と様々な飛行機を作っては飛ばすことを楽しんでいます。それを見たにじ・つき組の子供たちは、「僕もほしいな。」「私も飛ばしてみたいな。」と部屋を覗きます。にじ組の男の子が「作って下さい。」と勇気を出して伝えたことをきっかけに、紙飛行機教室が始まりました。「Aちゃんの次に作ってあげるから待って」「何色の飛行機がほしい？」と声をかけて作ってあげたり、「ここまでやってみて」「よく見よって」と丁寧に作り方を教えてあげたりと相手に合わせて関わってくれるほし組、もちろんほし組同士でもしっかりかかわり合って遊び、互いに刺激し合って成長しています。何でもよく知っているほし組さんと遊ぶことに楽しさを覚えたにじ組・つき組の子供たちは、毎日給食が終わると自然にほし組に集まってきます。



お兄ちゃんに飛行機の作り方教えてもらったよ。「スマイルひこうき」よく飛ぶんだったって！



令和4年度

ともそだち



令和4年12月21日
大崎上島幼稚園 NO. 16

作ってみよう！遠くに飛ぶ紙飛行機

先日登園してくると、遊戯室に楽しいものがぶら下がっていました。「わあー何これ？すごい」「どうやって遊ぶの？」と興味津々の子供たち。実は、毎日楽しんでいる飛行機作りをもっと楽しいものにしようと、担任の先生が天井から手作りの輪をぶら下げていました。これを見たほし組は、「自分の飛行機を飛ばして輪をくぐらせたい。」という目標をもち、「輪をくぐらせるにはどんな飛行機がいいのか」をテーマに話し合いが始まりました。話し合いは、「輪をくぐらせるためには遠くに飛ぶ飛行機を作る。」という結論になり、全員の共通の目的となりました。その後、子供たちは、まず初めに用意されたいろいろな紙質の用紙から自分が考えた飛行機を作るためにどれが良いのか選びました。



「硬い方がよく飛ぶかも」「折り紙が軽いからいいかな？」と重さを考えたり、「どの折り方なら遠くまで飛ぶかな？」「先がとがっているのがいいかな？」と今までの経験から作る飛行機を考えたりしていました。



飛ばしてみよう！

輪をくぐらせるのに苦労した子供たちは、何度も折り方を変えたり、飛ばし方を工夫したりとあきらめずに挑戦していました。その中で、折り方を見ながらやっとできた飛行機を飛ばしたAくん何度やってもうまくいきません。すると「先生！何がいけないのだろう？」と話しかけてきました。この言葉素晴らしいですね。更なる工夫につながります。



いろいろな種類を試し、投げ方も工夫したEちゃん、「硬い紙が絶対遠くに飛ぶ」と考え、紙質は変えず折り方を工夫したMくん、どの紙がよく飛ぶのか紙の材質にこだわったYちゃんとIくん、今まで作ってきた飛行機の中から、これだ！と思うものを作って挑戦したRくん。どの飛行機がよく飛んでいるのか、友達を観察しながら作ったNちゃん。それぞれ、「遠くに飛ばす」「輪をくぐらせる」という、目的に向かって試行錯誤しながら遊びました。



こんなにたくさんの種類の飛行機を作っています。

